

【21】 修驗宗教義書及自著書年月著者ノ姓名録

写1冊

〔書名よみ〕 しゅげんしゅうきょうぎしよおよびぢちよしよねん
 げつちよしやのせいめいろく 〔編著者〕 義観 〔写刊年次〕 未詳

〔内題〕 修驗宗教義書及自著書年月著者ノ姓名録

〔残欠状況〕 全 〔保存状況〕 大破 〔装訂〕 袋綴 〔丁数〕 五丁
 〔本文用字〕 漢字 〔一面行数〕 一〇行 〔界線〕 ナシ 〔表紙〕 ナシ
 シ 〔法量〕 縦二四・五×横一六・三糎 〔料紙〕 楮紙 〔書入〕 訂
 正（墨）、注記（墨） 〔印記〕 ナシ

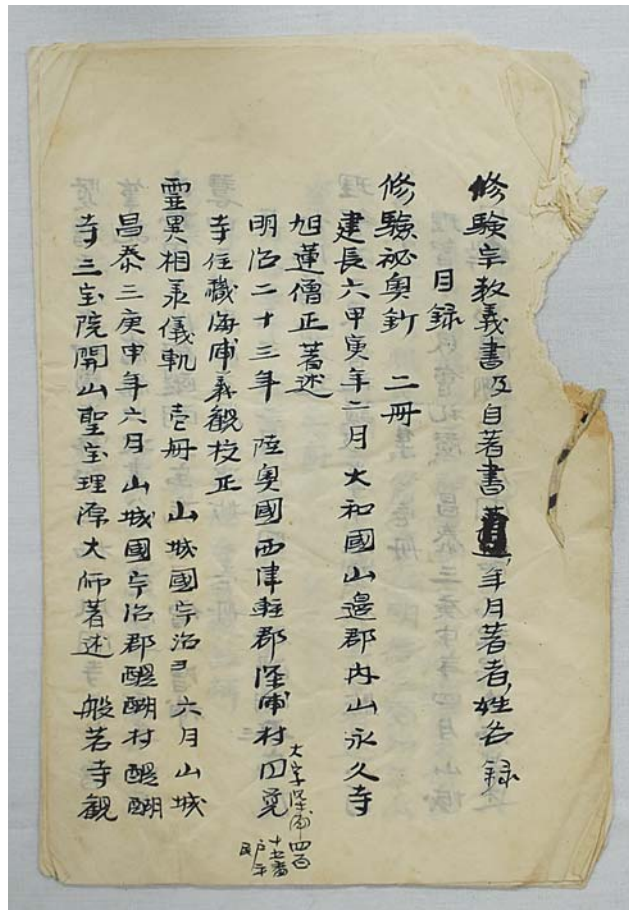
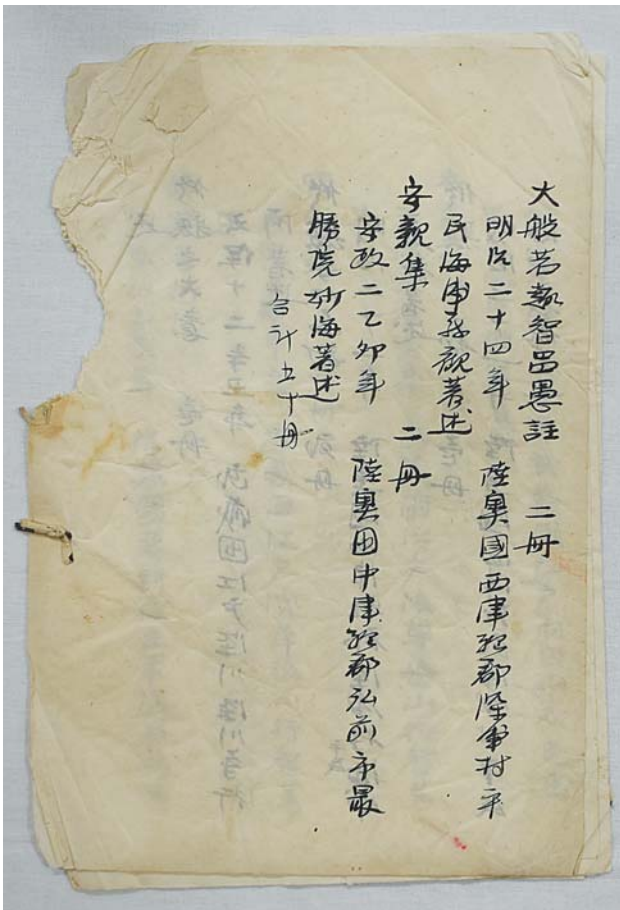
〔解題〕

円覚寺第二十六世海浦義観が、帝国大学に献納した書籍について、その著者や成立年代などを説明した目録。例えば『修驗道峯中火堂書』の項には、「壹冊 永禄二己未年 元出羽国鳥海山光明寺秋月著述」、「修驗速証集」には「二冊 永禄元戊午年 豊前国彦山靈山寺南谷華蔵院阿吸房則伝著述」、「修驗心鑑鈔」には、「寛平年中山城国宇治郡醍醐三宝院開山聖宝理源大師著述（後略）」と記すなど、各書の著者および成立について簡略な解題を付している。〔修驗道峯中火堂書〕は、『修驗道章疏』第一巻に所収。また、自分の著作『修驗安心義鈔』や『修驗二字義』、師僧妙海の『安親集』なども所収している。

〔参考〕

・海浦由羽子『驗乘末資海浦義観』（深浦町教育委員会、二〇〇三年）

（渡辺 麻里子）



賢僧正 大和國吉野郡鳥栖山風閣寺貞崇僧正
筆記 九箇條口決書八 建保三乙亥年四月

山城國宇治郡醍醐三寶院成賢僧正澄神
慧印三昧耶法玄怪口決抄 卷冊

長久三壬午年二月山城國宇治郡醍醐三寶院
仁海僧正著述

理智不二界會禮讚及奉中准及私記修驗十八箇
警策 台集 卷冊

理智不二界會禮讚 昌泰三庚申年四月山城
國宇治郡醍醐三寶院南山聖宝理原大佛著述

般若寺觀賢僧正筆記 奉中准及私記 寬文八

年七月山城國宇治郡醍醐三寶院高賢大僧正
著述 修驗通十八箇警策 明德三癸卯年山

城國宇治郡醍醐三寶院滿濟准三后著述
資通什物記 二冊

天曆年中 抗紫朗然著述 寬永二十癸未
年 日向國正因少見性寺宥鏡註解

修驗三十三通記 二冊
大永二壬午年 豐前國彥山靈山寺南谷葦藏

院阿吸房則傳著述

修驗通彙集 二冊

永祿元戌午年 豐前國彥山靈山寺南谷葦藏
院阿吸房則傳著述

修要秘決集 三冊
兼保年中 豐前國彥山靈山寺蓮愛著述 元

祿四辛未年 豐前國彥山不慧先達著述
修驗心鑑鈔 二冊

寬平年中山城國宇治郡醍醐三寶院南山聖宝
理原大佛著述 寬文二十壬午年 兼國會津若

松不求軒常因註解

修驗法具秘次精註 二冊

延宝二甲寅年 岩代國 會津若松不求軒常
因著述 明治二十三年陸奥國西津松郡津浦

村 海浦義親增註校正
役君形生記 二冊

天和四年 相模國高座郡大谷村慶善寺 芳高
著述

修驗峰中秘傳 二冊
元祿四年未年 周防國齋山新豐峯雲外著述

山伏二字義 卷冊

正保二乙酉年 日向国正因山見性寺者鏡著
 述
 室則法耀記 卷冊
 享保二丁酉年 尾法國蓬萊山歎驗著述
 修練祕穿義 七冊
 享保七庚子年 尾法國蓬萊山歎驗著述
 修驗通掌中大堂書 卷冊
 永錄二己未年 尾法國鳥海山光明寺秋
 月著述
 修驗通世常用集 二冊
 延享二乙丑年 上野國和田山鏡信著述
 修驗傳記岩解 卷冊
 元錄十七壬午年 山崎園字院郡醍醐三宝
 院唐德火傷正著述
 修驗日用見聞抄決刊 卷冊
 元錄十二己卯年 大和國添下郡鳥見莊靈山
 寺地藏院尊海著述
 修驗依の巻集及富山門原記合集 卷冊
 修驗依の巻集 天明九己酉年 武藏國多摩
 郡山田村吉村山最勝院融慧著述 富山門原

元 寛保二壬戌年 武藏國江戸向因山戒定惠
 院風園寺俊堅著述
 牛草衣 卷冊
 天保元庚寅年 武藏國江戸浅草鳩山行智著
 述
 踏雪録 卷冊
 天保十甲申年 武藏國江戸浅草鳩山行智著
 述
 修驗修行記 卷冊
 文政八乙酉年 信濃國蓼科嶽孝養院省城著
 述
 修驗之火意 卷冊
 天保十二辛丑年 武藏國江戸深川淨行
 所著述
 修驗安心抄 卷冊
 明治二十二年 陸奥國西津輕郡淨海寺
 義親著述
 修驗三字歌 卷冊
 明治二十二年 陸奥國西津輕郡淨海寺
 海軍義親著述